

# 令和8年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン26)について

令和8年5月  
防衛省

# 令和8年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン26)について

## 【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。

また、一部の訓練では、離島域において日米共同の災害対処訓練を実施します。

## 【訓練の沿革】

令和3年度に初めて実施し、本年度が6回目

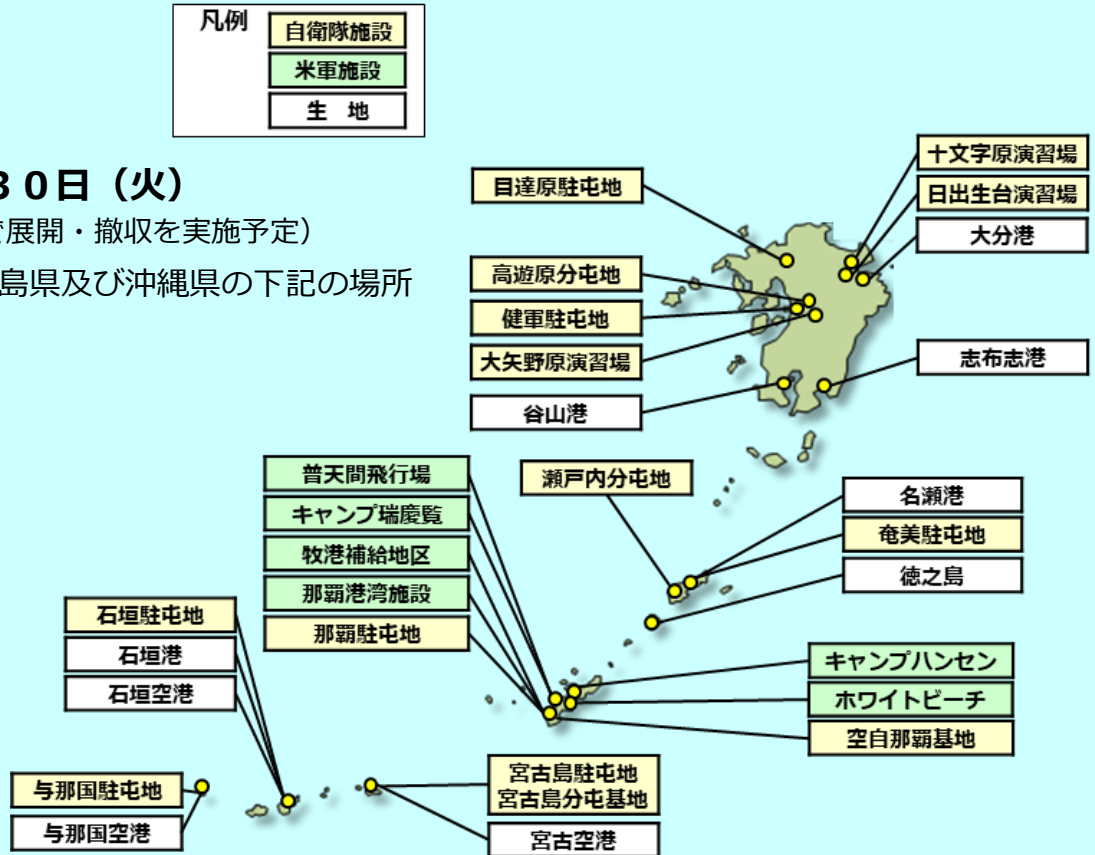
## 【訓練の実施場所及び期間】

### ➤ 訓練期間：令和8年6月20日（土）～30日（火）

（本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定）

### ➤ 訓練実施場所：大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県及び沖縄県の下記の場所

- ・ **大分県**：陸上自衛隊日出生台演習場、  
陸上自衛隊十文字原演習場、  
大分港
- ・ **佐賀県**：陸上自衛隊目達原駐屯地
- ・ **熊本県**：陸上自衛隊健軍駐屯地、  
陸上自衛隊高遊原分屯地、  
陸上自衛隊大矢野原演習場
- ・ **鹿児島県**：志布志港、谷山港、  
陸上自衛隊奄美駐屯地、  
陸上自衛隊瀬戸内分屯地、名瀬港、徳之島
- ・ **沖縄県**：県内の一部の自衛隊施設、在日米軍施設、宮古空港、石垣空港、石垣港、与那国空港



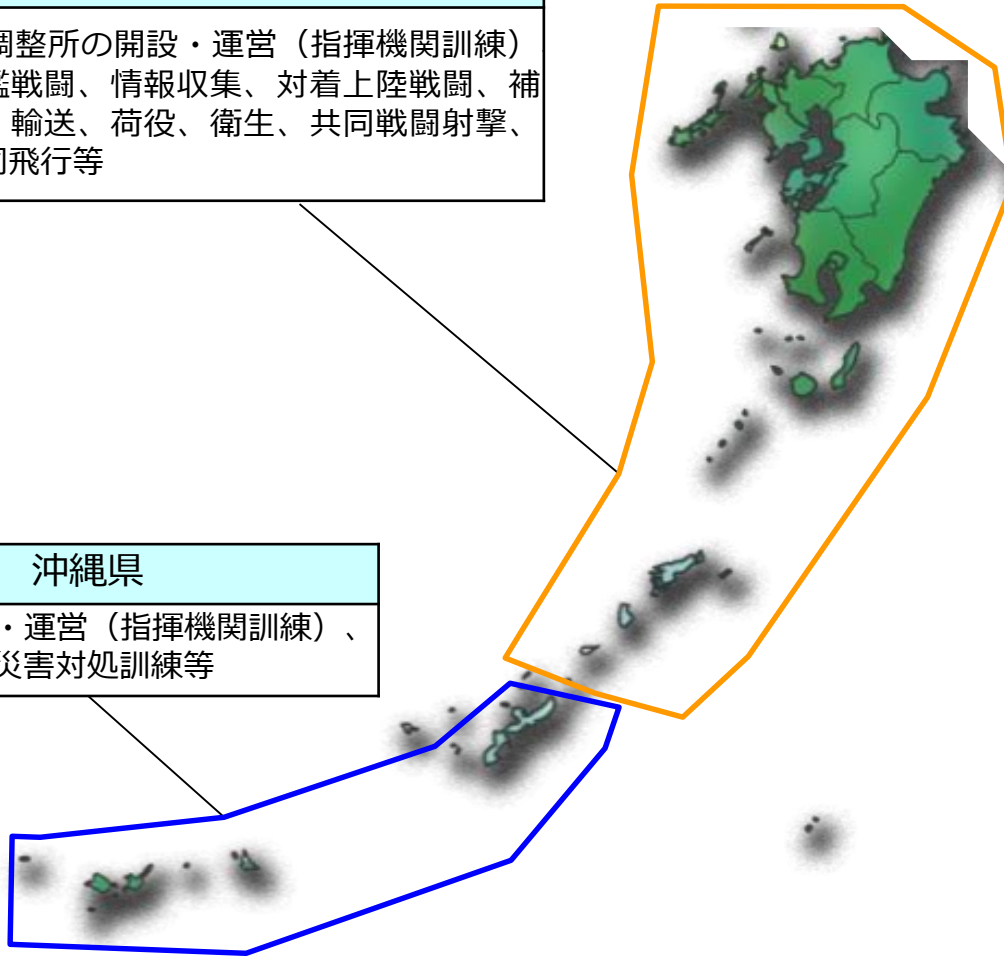
# レゾリュート・ドラゴン26における訓練内容等（基準）

**九州**  
(大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県)

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）  
対艦戦闘、情報収集、対着上陸戦闘、補給、輸送、荷役、衛生、共同戦闘射撃、共同飛行等

**沖縄県**

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）、  
災害対処訓練等



# 日出生台演習場の使用について

## 大分県

日出生台演習場においては、日米の共同調整所を開設した指揮機関訓練、日米共同による対着上陸戦闘訓練、共同対艦戦闘訓練、共同対空戦闘訓練、共同によるヘリコプター火力戦闘訓練（非実射）、共同補給訓練（空中投下含む）、共同衛生訓練（患者後送等）、共同戦闘射撃訓練、共同による電磁波訓練等を実施する計画です。

【期 間】 令和8年6月20日（土）～30日（火） ※1 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約4000名（陸上総隊、第8師団、第2特科団、第2高射特科団、西部方面航空隊、西部方面後方支援隊、西部方面衛生隊、北部方面隊、東北方面隊、中部方面隊、航空学校、12式地对艦誘導弾、88式地对艦誘導弾、多連装ロケットシステム、19式装輪自走155mm榴弾砲、99式自走155mm榴弾砲、03式中距離地对空誘導弾、11式短距離地对空誘導弾、93式近距離地对空誘導弾、91式携帯地对空誘導弾、87式自走高射機関砲、96式多目的誘導弾システム、10式戦車、16式機動戦闘車、中距離多目的誘導弾、01式軽対戦車誘導弾、84mm無反動砲、120mm迫撃砲、81mm迫撃砲、40mmてき弾、12.7mm重機関銃、無人偵察機、NEWS（ネットワーク電子戦システム）、AH-64×4機程度、OH-1×2機程度、CH-47×4機程度、UH-60×9機程度、AH-1×2機程度、V-22×2機程度、小型ドローン等）

米 軍：米海兵隊、米海軍 約500名（第12海兵沿岸連隊、第3海兵兵站群、第1海兵航空団等、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度、CH-53×4機程度、MV-22×4機程度、MH-60×1機程度、小型ドローン、無人偵察機（ストーカー）、ジャベリン、60mm迫撃砲、81mm迫撃砲、TOW（対戦車ミサイル）等）

米陸軍 約20名（在日米陸軍司令部等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

### 訓練予定場所



矢印は航空機の飛行経路を示したものではありません。



### 訓練イメージ



対着上陸戦闘訓練



共同戦闘射撃訓練



共同補給訓練（空中投下含む）



共同衛生訓練（患者後送等）

# 十文字原演習場の使用について

## 大分県

十文字原演習場においては、日米共同による対着上陸戦闘訓練、共同補給訓練、共同衛生訓練(患者後送等)、陸上自衛隊航空機及び米海兵隊航空機の駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

- 【期 間】 令和8年6月20日(土)～30日(火) ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約130名(陸上総隊、航空学校、補給本部、西部方面航空隊、西部方面後方支援隊、西部方面衛生隊、第8後方支援連隊、第8飛行隊等、AH-64×4機程度、AH-1×2機程度、OH-1×2機程度、CH-47×4機程度、UH-60×9機程度、V-22×2機程度等)
- 米 軍：米海兵隊・米海軍 約50名(第1海兵航空団、海兵航空支援部隊、第35戦闘兵站連隊、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度、CH-53×4機程度、MV-22×4機程度、MH-60×1機程度等)

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

### 訓練予定場所



矢印は航空機の飛行経路を示したものではありません。

### 訓練イメージ



対着上陸戦闘訓練



駐機・燃料補給・整備等



共同補給訓練



# 大分港の使用について

## 大分県

大分港においては、**準備訓練として、陸上自衛隊及び自衛隊海上輸送群による補給品コンテナの事前集積及び荷役訓練**を実施する計画です。

**集積したコンテナ（補給品及び弾薬）約70個**を、西部方面後方支援隊のフォークリフト操作及び中央輸送隊のクレーン操作により、**自衛隊海上輸送群の中型級船舶「ようこう」**に搭載します。同船舶は搭載完了後、志布志港に向けて出港します。なお、母港の呉港からの移動及び帰港に併せて、他の訓練に参加中の陸自隊員の輸送も実施します。

【期 間】 令和8年6月11日（木）～17日（水）（準備訓練） コンテナの事前集積（弾薬コンテナを除く。）  
令和8年6月18日（木）～19日（金）（訓練準備） 準備（弾薬コンテナの積載）  
令和8年7月1日（水） 撤収（弾薬コンテナの卸下）

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約70名（補給本部、中央輸送隊及び西部方面後方支援隊、160tトラッククレーン、23tフォークリフト×2台程度）  
自衛隊海上輸送群 約70名（第1海上輸送隊、中型級船舶「ようこう」）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中的のもの

### 訓練予定場所

大分港



大在公共埠頭  
(ソーラスエリア)

### 訓練イメージ



事前集積及び荷役訓練



中型級船舶「ようこう」